

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（ひとつせがわ） 一ツ瀬川森林計画区 （宮崎県）	事業実施主体	九州森林管理局 西都児湯森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本計画区は宮崎県のほぼ中央部に位置し、西都市、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、西米良村の1市5町1村に所在する26,636haの国有林野を対象としている。</p> <p>森林の現況は人工林14,546ha、天然林11,248haとなっており、主な樹種は針葉樹ではスギ、ヒノキ、広葉樹はシイ類・カシ類・ナラ類となっている。</p> <p>本計画区は、掃部岳、国見山、尾鈴山等1,000m以上の山岳が重畳し、急峻な地形を呈している。</p> <p>脊梁部には掃部岳生物群集保護林、尾鈴山・国見山にはコウヤマキ希少個体群保護林、及び尾鈴アカマツ等遺伝資源希少個体群保護林が設定されており、尾鈴山系一帯は尾鈴県立自然公園に指定されるなど自然環境の保全・形成等に重要な役割を果たすとともに、93%が保安林等の制限林に指定され、そのうち97%が水源かん養保安林であり県民の生活に欠かせない水資源の源流部となっている。</p> <p>また、本計画区は木材産業に対する依存度が極めて高いことから、木材の循環利用を見据え、植栽や間伐等の森林整備や路網整備を積極的かつ効率的に実施することとしている。</p> <p>具体には、令和4年度～令和8年度の5年間で人工林を主体とした育成林542ha（育成単層林470ha、育成複層林72ha）の更新、保育6,687ha（下刈2,235ha、つる切673ha、除伐426ha、保育間伐3,353ha）を実施するとともに、木材生産を67万m³（主伐31万m³、間伐36万m³）、低コストな林業専用道の開設を21.6km、既設林道の機能向上のための改良を7.2km計画している。</p> <p>なお、事業の実施に当たっては、これまでの事業評価結果を踏まえ効率的かつ効果的な実施に努め、国土の保全、自然環境の維持に配慮しつつ、森林整備の低コスト化に向けた取組として、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな伐採造林一貫作業システムの定着、下刈の回数を減らす等の低コスト造林の導入・定着を図ることとする。</p>														
	<p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>542 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,687 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>21.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>7.2 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 5,875,341千円（税抜き 5,341,219千円）</p>	森林整備	更新面積	542 ha		保育面積	6,687 ha	路網整備	開設延長	21.6 km		改良延長	7.2 km		
森林整備	更新面積	542 ha													
	保育面積	6,687 ha													
路網整備	開設延長	21.6 km													
	改良延長	7.2 km													
費用対効果分析	<p>総便益（B） 26,134,641（千円）</p> <p>総費用（C） 6,764,424（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 3.86</p>														
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。														

評価結果	<p>事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性等が認められる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 必要性：本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資すること、また、事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。・ 効率性：森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。 また、路網整備では、林業機械での長距離運搬となっている非効率な箇所の整備を優先すること、森林整備事業箇所へのアクセスを向上させる路網設計を採用することにより、コスト縮減を図ることとしている。 これらについては、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分見込まれる。 また、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、事業の有効性が認められる。
------	---

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業・林道整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：宮崎県

施行箇所：一ツ瀬川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,446,492	
	流域貯水便益	1,972,024	
	水質浄化便益	7,245,781	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,551,767	
環境保全便益	炭素固定便益	1,199,109	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	100,478	
	木材利用増進便益	106,510	
	木材生産確保・増進便益	2,410,780	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	3,101,700	
総 便 益 (B)		26,134,641	
総 費 用 (C)		6,764,424	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,134,641}{6,764,424} = 3.86$		

令和3年度 林野公共事業評価

「令和4年度新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図



一ツ瀬川森林計画区
(西都児湯森林管理署管内)



森林整備

列状間伐(集材作業)



路網整備

路網開設



造材作業



路網改良



森林整備事業の概要

森林の多面的機能が高度に発揮されるよう、間伐等を推進するとともに、複層林化や長伐期化等を通じて多様で健全な森林の整備を実施する。
また、これらの取組を効率的に進めるため、林道等の路網整備も進めている。



複層林化...

木材を収穫するとともに、多様な成長段階にある森林を配置し、公益的機能の維持・向上を図る

森林資源の循環利用



(植付け)



間伐...

植栽木がさらに成長していくと、植栽木同士がそれぞれの生育を阻害するようになるため上層木を間引き、残存木の成長を促進させ、間引いた材は搬出し、利用する



(下刈り)



(除伐)

造林...

次世代の森林を造成

植付けは、伐採跡地などに新たに森林を作るために、苗木の植付けの作業を行う。植付けを行う前に、必要に応じて伐採した後の枝葉やササ等の整理を行う

下刈りは、苗木を植付けた後の数年間は、周りの雑草木の成長が盛んで、植付けた木（植栽木）への日当たりが悪くなり成長が阻害されたり、つるが巻き付き植栽木の幹を締め付けてしまうこともあるため、これらの障害を防ぐ守るために、雑草木を刈り払う作業を行う

除伐は、数年すると、植栽木以外の木が大きくなって、植栽木の生育を阻害することがあります。このような木を伐るとともに、植栽木の中で曲がったり、成長が悪い木を伐る作業を行う

路網整備...

路網は、施業を効率的に行うためのネットワークであり、林業の最も重要な生産基盤であり、労働条件や生活環境の向上にも役立っている

そのため、林道や丈夫で簡易な森林作業道等による路網整備を推進している

